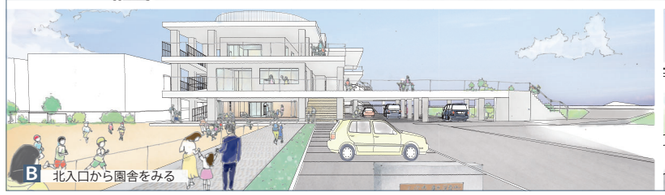
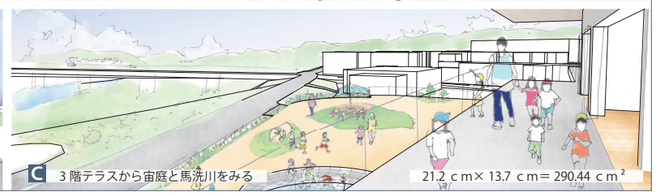
「いきいき」体験をこども達に

体験から得られる喜びは、生きる力を育みます。私たちは園舎に様々な体験フィールドを設け、こども達の「いきいき」とした姿をまちへ発信します。
保護者や保育者、まちをも笑顔にし、皆が「いきいき」する保育所を目指します。

A　敷地北西側から園舎をみる



B　北入口から園舎をみる



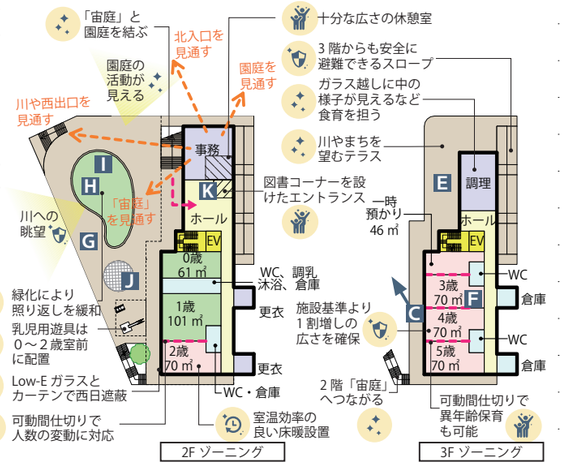
C　3 階テラスから宙庭と馬洗川をみる　21.2 ｃｍ× 13.7 ｃｍ＝ 290.44 ｃｍ²

「いきいき」体験できる４つのキーワード

- こどもを「まもる」
- こどもが「いきいき」
- こどもと「いきいき」みらいも「いきいき」

「宙庭（そらにわ）」の４つの役割

1. 災害からまもる役割
2. 保育の幅を広げる役割
3. 大きな庇の役割
4. まちにつなぐ役割



D　ピロティで遊ぶこども達

E　調理室前のテラスでおやつ

F　保育室で絵本読みやお絵描き

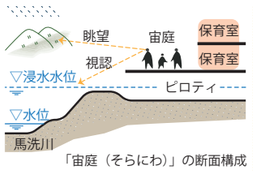
テーマ１「安心・安全な施設」について

―こどもを「まもる」―

浸水や外部の侵入者からこども達を「まもる」安心・安全な建物で、こども達がのびのびと成長する園舎をつくります。

1. こども達をみまもる「宙庭（そらにわ）」

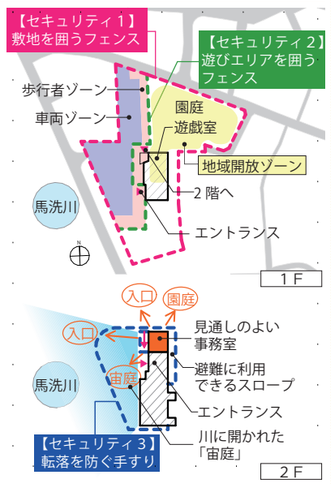
- ２階レベルに人工地盤で「宙庭」をつくります。外部からの侵入や園外に出る恐れからこども達をまもります。
- 「宙庭」は川の異常を察知し易くさせ、氾濫時の対応を迅速にします。災害時は近隣住民の避難を受け入れます。



「宙庭（そらにわ）」の断面構成

2. こども達をまもる「配置計画」

- 周辺道路の渋滞を避けるため、車は北側から進入し西側へ出る一方通行とします。
- 人と車の動線を明確に分離します。園庭の周囲にはこどもの飛び出しを防ぐフェンスを設置します。
- 事務室は２階の北側に配置します。園庭を見渡すことができ来所者や「宙庭」、敷地の出入り口を確認することが可能です。
- 小さなこどもが迅速に避難できるスロープを設置します。また、スロープは隣家との緩衝とし、近隣への騒音対策を図ります。
- フェンスや電気錠を使い、セキュリティを万全にします。監視カメラは必要に応じて設置します。



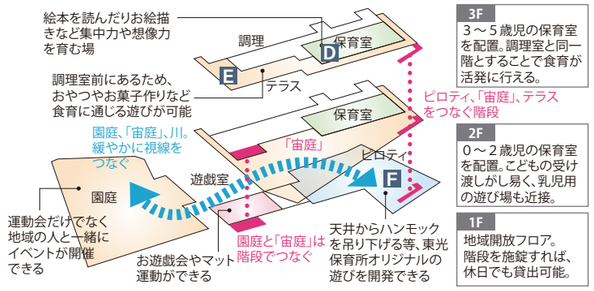
テーマ２「主体的な育ちを支える施設」について

―こどもが「いきいき」―

日々の体験を通じてこども達の感性を育む多種多様な遊び空間をつくり、こども達が「いきいき」と輝く園舎を目指します。

1. こども達を夢中にさせるフィールド

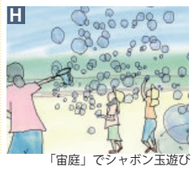
保育室と屋外の遊び場を立体的に配置し、階段を設けることで体験のフィールドをつなぎます。



2. 成長を促す「宙庭（そらにわ）」

- 「宙庭」では保育者の目が行き届き、こども達ものびのびと遊ぶことができます。
- 動物や植物を育てたり、土や緑に触れることで自然を学ぶ場になります。
- お茶会やハロウィン等、地域の人を招いたイベントで人との関わりを広げます。

G　「宙庭」の砂場で土いじり



H　「宙庭」でシャボン玉遊び

I　「宙庭」で茶道の先生とお茶会

J　「宙庭」からピロティを覗くこども

テーマ３「保護者の立場にたった多様な保育のニーズに対応した施設」について

―こどもと「いきいき」―

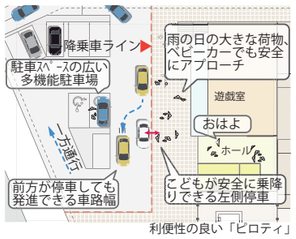
保護者や保育者が共に「いきいき」と子育てができ、まちが子育てに参加できる園舎を目指します。

1. らくらく送迎スペース

- 「宙庭」下のピロティにより雨の日もスムーズな送迎が可能です。
- 玄関ホールの図書コーナーや１階の遊戯室でお迎えが待てます。

K

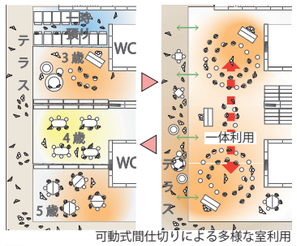
「図書コーナー」でお迎えを待つこども達



利便性の良い「ピロティ」

2. 豊富な保育のシチュエーション

- 保育室間は可動間仕切りとし、多様な保育が実施できます。異年齢保育も場面に応じて行えます。
- 一時預りは３階の保育室と隣接させ、保育人数の変動に対応します。
- 保育室前にはテラスを設け、一体利用により保育メニューが増える他、避難の誘導もスムーズにできます。

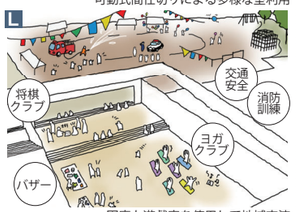


可動式間仕切りによる多様な室利用

3. まちに開かれた園舎

- 遊戯室は大開口の建具を用いて園庭と一体的に利用できます。バザーやお祭り等地域の活動が行え、こども達と一緒にまちを元気にします。
- 延長保育や休日、土曜午後保育に園庭や遊戯室を使うことで預けやすく見守りやすい保育を提供できます。

L



園庭と遊戯室を使用して地域交流

テーマ４「持続可能な社会の実現に貢献する施設」について

―みらいも「いきいき」―

SDGs の目標に基づきみらいのこども達へ引き継ぎ、永く使い続けることができる園舎を目指します。

1. 木材利用

- 地元県産木材を使ったフローリングや家具を検討します。木材を活用し、地域産業への貢献を目指します。
- 本来、廃棄される間伐材で有効利用したおもちゃを検討し、木育が体験できる環境を整えます。

換気用建具
出典：飯塚らいむ保育園

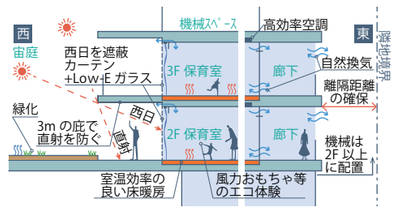
出典：府中市こどもの国

2. 環境負荷低減

- 遮熱カーテンや Low-E ガラスで西日対策を図ります。
- 自然通風を行うため、片廊下形式とし換気用建具を採用します。
- 「宙庭」の緑化や遮熱性のある再生ゴムチップで照り返しによる暑さを緩和します。

3. メンテナンス

- ｷｭｰﾋﾞｸﾙや室外機は２階以上に配置し、浸水対策とします。
- 空調は高効率でメンテナンス性の良いパッケージエアコンを採用します。
- 長期修繕計画を作成し定期的なメンテナンスを提案します。



4. みらいへエコアクション

- 遊戯室は独立した運用が可能な配置とし将来、園児が減少した場合に転用が図れます。

例：地域の集会スペース、デイサービス、子育て支援施設、親子の料理教室、森のポッケサテライト（おもちゃ貸出）

概算工事費

区　分		概算工事費（税抜）
新築	建築工事費	512,500 千円
	電気設備工事費	46,600 千円
	機械設備工事費	86,400 千円
	外構工事費（園庭・遊具等）	82,500 千円
既存解体工事費※		32,000 千円
総工事費		760,000 千円

※アスベスト除去工事を除く